意見交換会実施報告書

令和元年９月５日

赤穂市議会議長　様

委員会委員長　　家入　時治

民生生活委員会は、下記により意見交換会を実施したので報告する。

記

開催日時	令和元年８月２２日（木）１５時３０分　～１７時２０分
開催場所	赤穂市役所５階第１委員会室
意見交換会テーマ	障がいのある人の就労について
出席委員	代表者：家入時治 司会者：前田尚志 記録者：奥藤隆裕　他　民生生活委員会委員３名
相手方団体名 及び参加者数	赤穂市障害者自立支援協議会しごと部会メンバー　１３名 内：就労支援施設１０名、関係機関３名
主な意見等	１．概要 今回意見交換会を行った「赤穂市障害者自立支援協議会しごと部会」とは、障害者就労支援施設が力を合わせて、障がい者の就労に取り組むための組織である。具体的には、パンフレット作製（しごと好きです)、施設見学ツアーの開催等である。また、定期的に会合を持ち、情報交換を行っている。意見交換会の主な意見、要望等は以下の通り。 ２．意見・要望他 ①雇用状況について 兵庫県の障がい者の雇用状況は年々アップしている。しかし、西播磨は大企業の数が少ないため、障がい者と相性の良い働き口を見つけるのが困難である。全国的には障がい者の雇用は増えたが、赤穂市はあまり増えていない状況である。 ②市に対する要望 赤穂市では、就労希望者がどこに行けば良いかわからない状況である。

	市の窓口、相談支援事業所、ハローワーク、それらが分かれている。ワンストップ体制が望ましい。 参考：総社市の例：障害者五カ年計画を策定。ワンストップ体制を構築した。 ③除草・伐採作業の受託について 赤穂市からの仕事はあまり無い。 〇草刈り清掃について、受注方法を見直して施設が受注を取りに行きやすい方法も工夫してほしい。 〇業者の除草・伐採については、就労者１人でも施設の指導員がついていかなければならないので、少ない職員をそこに回すのが困難という状況もある。 ④解体・分解作業について 解体・分解作業は、障がい者に向いた仕事と思う。また、仕事もたくさんある。しかし仕事の単価が安すぎる。事業所は業者の下請となっているのも低賃金の原因かもしれない。 参考事例：伊勢原市では、携帯電話を市自ら回収し、レアメタルを取り出す事業を行った。その分解・解体作業を施設に委託した。そこまでしないと分解・解体作業の単価を上げるのは難しいかもしれない。 ⑤市会議員に対する要望 土産物に就労施設の商品（ラスク、お菓子など）を使って欲しい。就労可能性のある企業を紹介して欲しい。 ⑥その他 障がい者が社会貢献できることを社会に示したい。 働き方改革で効率優先の世の中になると、そのために心に病を持つようになる人がいるのではないかと危惧している。
委員会のコメント	各施設・関係者からの貴重なご意見を委員会で協議し、担当部局と意見交換すると共に、委員が議会での提言も検討する。また、議員個人への要望については各会派へ周知する。